

消防千葉

2013 No.520 平成25年6・7月号

平成25年7月1日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL043(263)9885
郵便番号 260-0801 (定価50円)
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



「茂原七夕まつり」茂原市(長生支部)

巻 頭 言

「意識改革で消防力の強化へ」

柏市消防局 消防局長 羽石 清二



柏市は、千葉県の北西部に位置し、利根川を境に茨城県と接し、市域は東西約18km、南北約15km、面積114.9km²、高いところでも標高30m程度の概ね平坦な地形です。

交通アクセスに恵まれ、鉄道は都心から放射状に、JR常磐線・首都圏新都市鉄道つくばエクスプレス、南北に東武野田線が通っており、主要幹線道路として、国道16号線・国道6号線・常磐自動車道が市内を通過する交通の要衝となっております。

本市は県北西部の中核市として、人口40万5千人が暮らし、近年、北部地域に産学官連携施設を含めた都市開発により、東京大学や千葉大学のキャンパス・研究所、高層マンション群、商業施設などが集約し賑わいをみせております。

柏市消防局は今年2月に常備消防が発足し、55周年を迎えたところですが、折しも、市町村消防を原則とする自治体消防制度が誕生して、今年で65周年を迎える記念すべき年となりました。

この間に、我が国の消防は着実に発展し、国民の安全・安心の拠りどころとして、消防体制の整備が図られてまいりましたが、とりわけ、先に発生した東日本大震災は、これまでに経験したことのない大地震と巨大津波により、各地に甚大な被害をもたらし、消防・防災の無力さを感じました。

更に今、新たに首都直下地震や南海トラフ巨大地震等の大規模地震発生が憂慮されるなか、消防防災体制の充実・強化が喫緊の課題となっております。

消防局では、毎年、重点事項を掲げて、消防の取り組む方向性を示しているところですが、限りある財源のなかで消防力の強化には自ずと限界があります。

今、解決策に人・施設・装備資機材の強化という特効薬がないなかで、何をすべきかが問われております。

「ものさし」をヒューマンファクターの高揚に視点を置き、発想の着眼点や意識改革としてやるべき事例に、例えば住民自らが「自分の命は自分で守る」という意識を持って取り組む、住民個々の「自助」意識を発露させること。地域に根づく伝統的な助け合いの精神、「互助」その代表たる消防団が、生き生きと活躍できる環境を改善すること。自主防災組織・ボランティア・市民と行政が、お互いに力を合わせて助け合う「共助」との連携強化を図ること。などなど…

これらは、前から指摘あるいは叫ばれている部分ではありますが、消防力の強化に繋がる工夫と改善の余地はまだ十分にあります。

そして、何よりお金をかけなくても出来ることに、職場意識の改善があります。より仕事に打ち込むことが出来る環境作りに気を配り、この生業に誇りが持てる「ブランド力」の発信とプライド・使命感の醸成に努め、モチベーションを高めることで、476名の消防職員・617名の消防団員が、決意を新たに、また、心一つにして、『みんなで作る 安心、希望、支え合いのまち 柏』を実現するため、対応してまいりたいと考えております。

最後に、記念すべき年にあたり、日本消防の更なる発展を願い、私の巻頭の言葉とさせていただきます。

平成25年度(公財)千葉県消防協会 定時理事会・定時評議員会の開催

(公財)千葉県消防協会の平成24年度事業報告・収支決算等を議決

平成25年5月28日(火)、平成24年度(公財)千葉県消防協会の定時理事会が千葉市内で開催されました。



委嘱状の交付

午後3時に開会し、新たに支部長、理事及び監事となった者への委嘱状の交付の後、石橋 毅会長の挨拶が行われ、平成24年度事業報告及び収支決算の承認、顧問の推薦など3議案について審議を行ない、全議案について原案通り承認されました。

また、評議員会のみなし決議により平成25年度になって辞任された理事・監事等の後任を選任した旨の報告、25年度の主要事業予定、26年度に予定されている第20回全国女性消防団員活性化ちば大会(仮称)への取り組み、実行委員会の設置等についての報告がなされました。

翌29日(水)午前11時から定時評議員会が開催され、新たに評議員となった者への委嘱状の交付の後、石橋 毅会長の挨拶、平成24年度事業報告及び収支決算の承認など2議案について審議を行ない、全議案について原案通り承認されました。



定時評議員会





定時理事会

また、評議員会のみなし決議の報告、第20回全国女性消防団員活性化ちば大会(仮称)への取り組み、実行委員会の設置等についての報告もなされました。

なお、選任された(公財)千葉県消防協会の新役員及び推薦された新顧問は次の通りです。

平成25年度千葉県消防協会役員・評議員等名簿

平成25年6月1日現在

職 名		氏 名	備 考		
役 員	最高名誉顧問	倉田 寛之			
	特別顧問	石井 利孝			
	会 長	石橋 毅			
	副 会 長	石井 幸一	消防長会(千葉市消防局長)		
		芝岸 弘	海匝支部長(銚子市消防団長)		
		野口 文夫	印旛支部長(富里市消防団長)		
		布留川 博保	山武支部長(東金市消防団長)		
		小田山 博史	東葛飾支部長(柏市消防団長)		
	理 事	鈴木 良紀	(公財)千葉県消防協会		
		三代川 彦博	千葉支部長(習志野市消防団長)		
		伊藤 進	香取支部長(東庄町消防団長)		委嘱状の交付
		小高 利広	長生支部長(長生郡市消防団長)		
		中村 東雄	夷隅支部長(勝浦市消防団長)		
		宇部 好弘	安房支部長(鋸南町消防団長)		
		竹内 克哉	君津支部長(木更津市消防団長)		
		奥野 三男	消防長会(栄町消防本部消防長)		
		前田 佳暁	消防長会(君津市消防本部消防長)		
		吉田 篤史	千葉県防災危機管理部 消防課長		
		伊藤 亮一	千葉県防災危機管理部 危機管理課長		
		酒井 正人	千葉県消防学校長		
専務理事		中澤 正道	(公財)千葉県消防協会		
常務理事	今関 達夫	(公財)千葉県消防協会			
監 事	小倉 邦裕	東葛飾支部(流山市消防団長)			
	齊藤 一郎	印旛支部(酒々井町消防団長)			
	川口 利治	消防長会(浦安市消防本部消防長)			
評 議 員	千 葉	岩井 精一	八千代市消防本部消防長		
		中山 光夫	市原市消防団長	委嘱状の交付	
	東葛飾	川島 正二郎	鎌ヶ谷市消防本部消防長		
		渡辺 義博	船橋市消防団長		
	印 旛	鈴木 昭三	佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部消防長		
		塚本 正英	四街道市消防団長		
	香 取	中田 肇	香取広域市町村圏事務組合消防本部消防長		
		佐藤 博勝	多古町消防団長		
	海 匝	宮内 忠	銚子市消防本部消防長		
		鈴木 淳一	匝瑳市消防団長		
	山 武	大塚 雅彦	山武郡市広域行政組合消防本部消防長		
		作田 利通	九十九里町消防団長		
	長 生	高橋 茂	長生郡市広域市町村圏組合消防本部消防長		
		鈴木 治夫	長生郡市広域市町村圏組合消防副団長		
	夷 隅	露崎 喜己雄	夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部消防長		
		齊藤 芳一	いすみ市消防団長		
	安 房	末村 幸次	安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部消防長		
		鈴木 勝一	南房総市消防団長		
	君 津	高橋 進一	富津市消防本部消防長		
		石井 輝之	富津市消防団長		

新たに就任した(公財)千葉県消防協会の顧問

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 大澤 英明 (前理事:八千代市消防団長) | 小高 芳一 (前理事:大多喜町消防団長) |
| 井田 弘 (前理事:南房総市消防団長) | 前田 吉敬 (前理事:君津市消防団長) |
| 鈴木 薫 (前理事:栄町消防本部消防長) | 高橋 諭 (前理事:千葉県消防協会専務理事) |
| 藤田 政万 (前理事:千葉県消防協会常務理事) | 小金谷恒久 (前監事:白井市消防団長) |
| 鈴木 俊一 (前監事:市川市消防団長) | 飯田 和行 (元理事:我孫子市消防団長) |
| 東島 康二 (元理事:鴨川市消防団長) | 森 豊 (元理事:袖ヶ浦市消防団長) |

平成25年度千葉県少年婦人防火委員会及び 千葉県婦人防火クラブ連絡協議会を開催

千葉県婦人防火クラブ連絡協議会(会長 竹内久子)は、平成25年5月17日(金)千葉市内において協議会を開催し、①平成24年度の事業報告及び決算 ②平成25年度の事業計画及び予算について審議し、全議案について原案通り承認されました。

また、5月21日(火)には、千葉県少年婦人防火委員会(会長 石橋 毅)が千葉市内において開催され、人事異動に伴う新委員の委嘱の後、①平成24年度の事業報告及び歳入歳出決算 ②平成25年度の事業計画及び歳入歳出予算について審議し、全議案について原案通り承認されました。

平成25年度千葉県少年婦人防火委員会及び婦人防火クラブ連絡協議会事業計画

事業名	実施年月日	実施場所	事業内容
1.研修会 (1)婦人防火研修会	平成26年1月 共催 ・日本防火協会 ・少年婦人防火委員会 ・婦人防火クラブ連絡協議会	千葉県消防学校	防災意識の高揚と防火知識の普及を図るため、地域に密着した防火クラブの指導員・消防関係者等を対象に研修を行う。 ・住宅防火対策・事例発表・知識技術の学習
2.啓発宣伝 (1)防火思想の普及啓発	平成25年4月 ～26年3月	市町村消防本部 並びに消防団	広く防災思想の普及、啓発を行うため、小・中学生から防災ポスターを募集し、「防災ポスター展」の開催、秋の予防期間中に防災ポスターを印刷・配布する。 住宅用火災警報器設置促進啓発品を作成配布する。
(2)関東ブロック会議	平成25年未定	埼玉県	「平成25年度関東地区婦人防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会」を開催し、参加する。
(3)諸事業への参加協力	随時 平成25年7月1日 ～2日 平成25年11月25日 平成26年1月下旬	県下各地区 日本防火協会 ルポール麹町 東京ドーム 日本防火協会	各市町村消防機関の実施する諸事業に積極的に参加する 「第16回市町村婦人防火クラブ幹部研修会」に役員が参加 消防団120年・自治体消防65周年記念大会に関係者が参加する。 「全国婦人防火連合会総会及び第14回応急手当普及啓発推進会議」に協議会会長が参加
3.地区活動	平成25年4月1日 ～26年3月31日	市町村消防本部	春秋の火災予防運動期間中等、各種防火クラブ員および消防関係者と密接な連帯のもとに、消火訓練並びに消防施設見学等、火災予防の啓発に努める。
4.諸会議	平成25年5月17日 平成25年5月21日	千葉市内プラザ 葉の花	千葉県婦人防火クラブ連絡協議会会議 千葉県少年婦人防火委員会会議
5.防火大会 表彰	平成26年3月18日 共催 ・千葉県 ・千葉県消防協会 ・少年婦人防火委員会	青葉の森公園 芸術文化ホール	「第64回千葉県消防大会」において、「第28回防火大会」を開催し、地域の防火防災思想普及啓発のため及に積極的に活動した幼年消防クラブ・少年防クラブ、婦人防火クラブの優良3団体へ表彰を行う。

平成25年度 消防(局)長

平成25年6月1現在所属

所 属	消防(局)長氏名
千 葉 市 消 防 局	石井 幸一
市 川 市 消 防 局	鈴木 富雄
銚 子 市 消 防 本 部	宮内 忠
船 橋 市 消 防 局	伊藤 陽基
安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部	末村 幸次
木 更 津 市 消 防 本 部	篠田 清隆
香取広域市町村圏事務組合消防本部	中田 肇
長生郡市広域市町村圏組合消防本部	高橋 茂
野 田 市 消 防 本 部	藤井 文明
松 戸 市 消 防 局	葛西 幸司
習 志 野 市 消 防 本 部	古賀 弘徳
柏 市 消 防 局	羽石 清二
我 孫 子 市 消 防 本 部	豊嶋 昇
佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部	鈴木 昭三
成 田 市 消 防 本 部	内田 廣
匝 瑳 市 横 芝 光 町 消 防 組 合 消 防 本 部	石毛 正行

所 属	消防(局)長氏名
流 山 市 消 防 本 部	久保 明
市 原 市 消 防 局	勝地巳三男
八 千 代 市 消 防 本 部	岩井 精一
山武郡市広域行政組合消防本部	大塚 雅彦
旭 市 消 防 本 部	佐藤 清和
君 津 市 消 防 本 部	前田 佳暁
鎌 ヶ 谷 市 消 防 本 部	川島正二郎
富 津 市 消 防 本 部	高橋 進一
夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部	露崎喜己雄
四 街 道 市 消 防 本 部	能城 俊一
浦 安 市 消 防 本 部	川口 利治
印西地区消防組合消防本部	半田 實
袖 ヶ 浦 市 消 防 本 部	小林 好
富 里 市 消 防 本 部	大木 隆義
栄 町 消 防 本 部	奥野 三男

平成25年度 消防団長

平成25年6月1現在所属

支部	市町村(組合)	消 防 団 長
千 葉 支 部	千 葉 市	白井 正巳
	習 志 野 市	三代川彦博
	市 原 市	中山 光夫
	八 千 代 市	安原 健吉
東 葛 飾 支 部	市 川 市	高橋 廣孝
	船 橋 市	渡辺 義博
	松 戸 市	齋藤 和實
	野 田 市	近藤 利夫
	柏 市	小田山博史
	流 山 市	小倉 邦裕
	我 孫 子 市	吉田喜一郎
	鎌 ヶ 谷 市	澁谷 誠幸
浦 安 市	平林 清重	
印 旛 支 部	成 田 市	村島 義則
	佐 倉 市	櫻井 道明
	四 街 道 市	塚本 正英
	八 街 市	斉藤 弘一
	印 西 市	川上 賢二
	白 井 市	川上 正紀
	富 里 市	野口 文夫
	酒 々 井 町	齊藤 一郎
	栄 町	芝野 照敏

支部	市町村(組合)	消 防 団 長
香 取 支 部	香 取 市	林 清一
	神 崎 町	高柳 智
	多 古 町	佐藤 博勝
	東 庄 町	伊藤 進
海 匝 支 部	銚 子 市	芝岸 弘
	匝 瑳 市	鈴木 淳一
	旭 市	鈴木 格
山 武 支 部	東 金 市	布留川博保
	山 武 市	花澤 健
	大 網 白 里 市	地柅 憲夫
	九 十 九 里 町	作田 利通
	芝 山 町	小川 総夫
長 生	長生郡市広域市町村圏組合	小高 利広
	勝 浦 市	中村 東雄
夷 隅 支 部	い す み 市	齊藤 芳一
	大 多 喜 町	二階堂 孝
	御 宿 町	小川 征
安 房 支 部	館 山 市	濱田 正道
	鴨 川 市	田代 朗
	南 房 総 市	鈴木 勝一
鋸 南 町	宇部 好弘	

支部	市町村(組合)	消 防 団 長
君 津 支 部	木 更 津 市	竹内 克哉
	君 津 市	松崎 良成
	富 津 市	石井 輝之
	袖 ヶ 浦 市	吉田 政幸

消防団員確保対策に関するシンポジウムの開催

平成25年5月22日(水)日本消防会館において、(財)日本消防協会の主催、消防庁後援により「消防団員確保対策に関するシンポジウム」が開催されました。

午後1時、(財)日本消防協会の秋本会長の挨拶により開会され、第1部では「消防団員確保のための取組み」として、

- ①被雇用者団員の増加や団員の高齢化、女性消防団員などの消防団の現状
- ②出動状況や所有車両など消防団の活動
- ③機能別団員や分団、団員確保の支援体制や協力事業所表示制度、入団促進キャンペーンなどの消防団員確保対策
- ④日本消防協会の役割と活動
- ⑤ドイツやアメリカなど諸外国の消防団の状況

について日本消防協会からの説明の後、秋田県鹿角市、



新潟県長岡市、静岡県長泉町、愛媛県松山市及び鹿児島県薩摩川内市消防団からの事例報告があり、休憩後、第2部として、秋山日消協会長をコーディネーターに田村新潟大教授、室崎神戸大教授、大庭消防庁国民保護・防災部長、岡崎高知市長、山崎NHK解説主幹等をパネリストとして「消防団員確保対策に関するパネルディスカッション」が行われました。



平成25年度千葉県地震体験車取扱い説明会の開催

千葉県防災計画課

平成24年5月8日(水)、千葉県防災政策課により千葉県地震体験車「まもるくん」の取扱い説明会が、千葉県中央防災センター(千葉市中央区仁戸名町)において市町村及び消防職員等50数名の参加のもと開催されました。

地震体験車の車庫前で貸付予約の方法や車両の運転に当たっての注意事項、起震装置の操作の説明が行われ、続いて、地震体験車による地震体験の実演が行われ、参加者が交代で実際に地震を体感したりマニュアルに基づいて起震装置の操作を行いました。

地震体験車は地震による揺れの怖さや初期消火活動の難しさについて身体を通じて実感することができ、実際に地震が起こったときの冷静な対処のために大変役に立ちますので学校や地域の防災訓練等の一環として市町村や消防本部を通じて奮ってご利用願います。



我が町の消防団

習志野市消防団

習志野市は千葉県の北西部、下総台地の端に位置し、海岸部から内陸部にかけて比較的高低差の少ない地形となっています。戦後、東京湾沿いの海岸は次々と埋め立てられていきましたが、貴重な湿地が僅かに残りました。それが、ラムサール条約登録地であり、渡り鳥の重要な中継飛来地となっている谷津干潟です。



明治期の習志野市は、第一旅団や旧陸軍鉄道連隊があり、小説「坂の上の雲」の秋山好古に代表される軍都のイメージを持つ方も多く聞いています。大正昭和にかけては、レジャー施設(のちの谷津遊園)をはじめ、坂東妻三郎の撮影所や読売巨人軍の旧グラウンドがあり、ペーブ・ルースもプレーをしたそうです。

戦後は高度経済成長とともに、東京のベッドタウンとして発展しました。市域は21km²と県内で4番目の狭さですが、人口密度は3番目に高く、現在16万人が居住する街となっています。文教住宅都

市として「一市民一文化、一スポーツ、一ボランティア」をスローガンに掲げており、我々消防団員も様々なボランティアを行いながら、市民の安全・安心に向けて活動をしています。

現在の消防団の構成は、三代川彦博団長以下170名(平成25年4月1日現在)の消防団員により、1団本部、8ヶ分団で構成されています。うち9名は団本部付の女性消防団員で、災害現場などにおいても、女性の目線からの対応を行うなど、活躍の場を広げています。各分団には、それぞれ消防ポンプ自動車(CD1)を1台配備し、



市内のどこで

災害が起こっても素早く現場まで駆けつけられるよう、地域に密着した体制を構築し、市民の安全・安心を守っています。

習志野市では今年、本市初となる遠隔地との災害時相互応援協定を京都府京田辺市と締結しました。この背景には、京田辺市消防団と本市消防団との長年に亘る交流が大きなきっかけとなったことは、誠に感慨深いものがあります。この交流を通じ深い感銘を受けたものに、京都の人たちの道具を大切にすることがあります。それは「雲龍水」というもので、江戸時代から明治の初めにかけて、火災現場で「火消し」

の「まとい持ち」を守る道具として使用されていたものが、現在も使用できる状態で保存されており、放水演技も行われています。

この消防人の心意気を今に伝えることにより、防災への関心をより深く持ってもらいたいとの思いを込め、この「雲龍水」を習志野市防災協会発足50周年事業の一環として、平成21年7月に消防関係者の協力により、復元制作されました。主に女性消防団員が中心となって市民まつりや消防のイベントなどで、展示や放水体験などを行っています。放水体験に参加した子供たちの、一所懸命にポンプを押している真剣な顔や、放水する姿を見ていると、このような伝統を次の世代に繋げ伝えていくことの大切さを、ひしひしと感じます。

最後になりますが、あの3.11の教訓と悲しみを決して忘れることなく、各々の場所で市民の安心・安全な生活を守り抜くことを誓って、日々精進していきたいと思っています。



我が町の消防団

東金市消防団

東金市は、東京都心まで約60キロメートル、千葉県のほぼ中央部に位置しています。人口は約6万人で温暖な気候に恵まれ、平野部は良質な田園地帯が太平洋に向かって広がり、丘陵地は山武杉の森林に覆われています。古くは江戸時代、徳川家康の鷹狩りのために「御成街道」が造られたことにより、この地に宿場町と近隣の農産物が集まる間屋街とが形成されました。以降、東金は物流の集散地としてにぎわうようになり、九十九里地域の中核都市として発展しました。現在では、国道126号線と千葉東金有料道路をつなぐ交通の要衝となっており、平成25年4月27日には首都圏中央連絡自動車道が開通し、本市の重要性はさらに高まっています。

東金市消防団は、平成25年4月1日現在、布留川博保団長以下525名、1団・7分団・30個班体制で、消防ポンプ自動車12台、小型動力ポンプ付積載車18台、水槽車1台、赤バイ3台を保有し、東金市民約6万人の安全と安心のため日夜活動しています。

消防団の主な活動は、火災発生時の消火活動や風水害・地震等の大規模災害時の活動など市民の生命・身体・財産を守る重大な責務を負っています。

このため平常時には、消防防災知識の習得や水利・資機材の点検、消防ポンプ操法や中継技術の習得、救命講習、更には応急手当普及員講習の受講など各種訓練及び講習を積極的に実施しています。また、市が主催する防災訓練への参加はもとより、学校や幼稚園、保育園、または地元主催の防災訓練への協力、火災予防の広報活動など啓発活動にも力をいれ地域に密着している消防団として幅広く活動しています。特に団員の技術向上のための操法訓練については頻繁に実施し、訓練の成果を競う操法大会では火災現場を想定し、実際に水を出す演技方法で2年に1度開催しています。



など活発に活動しています。

毎年の出初式においては、徒歩・車両の分列行進や小・中隊訓練、操法演技などが披露され、式典終了後に八鶴湖畔において行われる一斉放水では、30台の消防車両から湖に向けて一斉放水が始まると集まった見学者からは大きな歓声があがっています。また毎年恒例となっている本部・分団対抗のソフトボール大会においては、1球をめくり、熱いプレーが繰り広げられており、階級の垣根を飛び越えた交流をもっています。

本市においても新入団員の確保は非常に難しい問題になっています。このことから平成22年度に機能別消防団員制度を取り入れました。平日の日中の火災において、出動が困難な団員に代わり力を発揮してくれています。

これからも東金市消防団は、古き良き伝統を継承しつつ、新しいものにも目を向けながら「市民が安全で安心に暮らすことができる東金」を目指し、地域の防災リーダーとして市民の期待に応えていけるように邁進してまいります。



東 西 南 北

ちば消防共同司令センター開設 披露式の開催

消防司令業務を共同で運用するため、千葉県北東部・南部の20消防本部が千葉市消防局庁舎内に整備を進めてきた「ちば消防共同指令センター」が完成し、運用開始となったことから平成25年4月26日(金)の10時から千葉市消防局1階講堂において開設披露式が行われました。

式典は、事務協議会長の石井千葉市消防局長の式辞、構成団体の管理者を代表して熊谷千葉市長の挨拶、岡崎消防庁長官(代理武田審議官)及び森田千葉県知事の来賓祝辞など行われ、式典終了後は7階にある共同指令センターの見学が行われました。



千葉市花見川消防署特別救助隊の発隊 千葉市消防局

千葉市では、平成25年4月1日(月)首都直下地震や千葉県東方沖地震等の大規模地震の発生が懸念される状況のなか、人命救助を専門に活動する特別救助隊を千葉市北西部の「千葉市花見川消防署」に増隊し、市内5隊目の救助隊が発隊となりました。4月23日(水)花見川消防署屋外訓練場で、交通事故現場を想定した救護救出訓練・火災を想定した高所からの救助訓練を行い、新体制のもと、部隊活動の強化や各種救助資器材の習熟についての確認がなされ、大変有意義な訓練となりました。



福島県双葉町消防派遣活動レポート

千葉市消防局

4月から6ヵ月間、全国主要15都市の消防職員がリレーで支援を行っていますが、第三次派遣隊千葉市消防局部隊(H25・4・24～5・7)のレポートです。

双葉消防本部は、管轄のほとんどが福島第一原子力発電所から20キロ圏内で、火災の警戒及び火災発生時における消火活動等の警防業務の支援を行います。



この地方の皆さんは、特殊な環境下に今もおかれています、警戒区域など見直しが進んでいますが、復興が進んでいるとはとても言えません。私たち消防の活動が住民の安心・安全に少しでも役立てばと思うばかりです。

今、このときも支援活動をされている皆さんの活躍と健康を祈ります。



新人消防士(入校～がんばりました耐久訓練)

千葉市消防学校

千葉市消防局では石井消防局長より4月1日付けで、辞令が交付され新人消防士48名が誕生、翌日から半年間の初任教育を行うため全寮制の千葉市消防学校に入寮しました。

4月26日(金)、困難な災害現場に立ち向かえる「強靱な体力・気力・忍耐力」、さらに規律ある部隊活動に必要な「責任感・チームワーク」を身につけることを目的に、全行程20kmを速足や駆足で進み、筋力トレーニングやチーム対抗リレー等の耐久訓練を行いました。

訓練を終えて、共に励まし合い、支え合う意識が芽生え、そして一人の脱落者も無いことに、それぞれに達成感を感じ1日の訓練を「万歳」と叫んで終わりました。



ポンプ車操法、機器取扱訓練を開始

千葉市消防学校では、平成25年5月13日から初任科教育中48名の学生が、ポンプ車操法、機器取扱訓練を実施しています。

ポンプ車操法は、消防職員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、迅速、的確、かつ実戦的な基本訓練を展開し、火災防ぎよに万全を期することを目的に行い、機器取扱訓練は、消火活動等が円滑に行われるように各機器(資器材)の諸元説明、取扱いを行っています。空気呼吸器取扱訓練では、自分の身を守る空気呼吸器の重要性を認識・体験し、大変緊張していました。



松戸市小金消防署新庁舎開署記念式

松戸市消防局

「安全で快適な生活環境の実現」を目指した松戸市小金消防署が完成し、平成25年4月1日に開署しました。

同月18日には、新庁舎の完成を祝い、地域の方々をはじめ関係者の出席のもと、開署記念式及び施設の内覧を行いました。

新庁舎は、「市民の安全安心な暮らしを支える拠点」「市民が利用しやすい庁舎」「人と地球環境にやさしい庁舎」に基づき、地域防災力の向上を目的とした二分割式の多目的室やオストメイト用トイレをはじめとするバリアフリーを取り入れた消防署として建設されております。

また、地理的に時間を要していた地域への現場到着時間が短縮され、大規模災害対応機能の高い消防防災活動拠点として、今後も本市北部地域の防災体制の確立に努めていきます。



～“新入社員防火教室の開催”～

船橋市消防局

船橋市消防局(伊藤陽基局長)では、平成25年4月23日(火)、24日(水)の両日、市内40事業所から4月に入社した新入社員400人を対象に防火教室を開催しました。

これは、職場での防火・防災に関する知識、また、消防用設備等の基本的な取り扱いを学んでいただき、各事業所における初期消火体制の強化及び防火思想の普及啓発を図ることを目的として開催しております。

通報訓練を体験した新入社員からは、「慌ててしまい会社の住所が言えなかった」と訓練の重要性を深く認識しておりました。



通報訓練を体験する新入社員

～“船橋市消防局市民音楽隊”～

船橋市消防局 (船橋市消防局音楽隊は、新たな一步を踏み出しました。)

船橋市消防局(伊藤陽基局長)では、「市民と消防をつなぐ音のかけ橋」として、平成25年4月1日より、消防局音楽隊と市民音楽隊員が共に出演し、火災予防広報の活動を行うことを目的とする「船橋市消防局市民音楽隊」を結成いたしました。

練習初日では皆さん固い表情ではありましたが、時間が経つにつれ、同じ楽器の隊員や席がとなり同士での会話が弾むなど和やかな雰囲気の中、船橋市消防局音楽隊の新たな一步が踏み出せました。



(和やかな雰囲気練習をする市民音楽隊員)

～“消防局長点検を実施”～

(判断力・結束力・組織力をもって災害に立ち向かう!!)

船橋市消防局(消防局長:伊藤陽基)では、平成25年5月15日(水)、16日(木)、17日(金)の3日間、約500名の職員を対象に規律の保持を目的として、JRA(日本中央競馬会)中山競馬場センタープラザを借用し、消防局長点検を実施しました。

毎年、新年度に中央消防署、東消防署、北消防署において、全署員に対し署長点検を行っているところですが、さらなる服務規律の保持を図り、職員の判断力・結束力・組織力をより強固にするため実施いたしました。



(職員の規律を再確認する消防局長)

消防団全団員研修の実施

木更津市消防団

木更津市消防団は5月12日木更津市市役所西側駐車場に集結し、毎年行われている全団員研修を開催しました。開会式に全団員整列しその後、幹部研修会、機関員講習会、規律訓練



とそれぞれわかれて研修を実施しました。

幹部研修では座学を行い分団長、副分団長、部長が、消防団の心得、緊急自動車とは、消防団の福利厚生、消防団の出動区分等を副団長および職員が講義を行い、機関員講習では各部機関担当が集まり職員により消防ポンプの運用について講義し、自動車ポンプ、小型ポンプに分かれスムーズな放水活動要領等の実技指導を行い、規律訓練は新入団員と2年目以上にわかれ規律訓練を実施、新入団員は規律訓練を中心、2年目以上の団員は規律訓練実施後小隊における訓練を実施しました。

その後全団員が集合し全体における行進訓練を行いました。



日々の動き

防災危機管理部
消防協会 共同編集

平成25年

- 6月 7日 消防協会顧問会(千葉市)
11日 第38回消防救助技術千葉県大会(県消防学校)
13・14日 関東甲信地区消防協会会議(長野市)
23日 香取・夷隅・安房支部消防操法大会
30日 千葉・東葛飾・印旛・海匝・長生・山武支部消防操法大会
- 7月 3・4日 千葉県消防長・消防団長会議(鴨川市)
6日 君津支部消防操法大会
16日 第20回全国女性消防団員活性化ちば大会実行委員会(千葉市)
27日 第49回千葉県消防操法大会(県消防学校)



平成25年 夏の全国交通安全運動 7月20日(土)から7月31日(水)
スローガン ～ だいじだね おさきにどうぞの おもいやり ～

平成25年度 全国統一防火標語
「消すまでは 心の警報 ONのまま」

〈表紙の説明〉

「茂原七夕まつり」

茂原市(長生支部)

茂原七夕まつりは、産業振興策の一環として、1954年に始まりました。

茂原市の発展とともに、市民まつりの地位を築き、夏の最大行事として市民から愛されるだけでなく、関東屈指の祭典となっております。

第59回目となる今年は、7月26日から28日まで開催し、色とりどりの七夕飾りや、阿波踊り・YOSAKOIなどのイベントで皆様をお迎えいたします。

